

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会  
平成 25 年度 風の子保育園 事業計画

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ① 子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園  
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を見につけ豊かな感情と思考力の発達を  
めざした保育を！
- ② 産休明けから就学まで、年齢・障害・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者・  
の立場にたった保育の創造をめざそう！
- ③ 父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保  
育園に！
- ④ 子ども・父母・職員の立場を大切にし、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう
- ⑤ 保育をめぐる様々な要求を大切にし、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場  
に立って、実現できるよう、保育運動を発展させよう。

**事業計画**

新システム関連法案が可決され2年後に実施されるまでに、現状の施設型給付の保育園でいくのか、認定子ども園としていくのか方向性について考えています。

そのために経営分析を行い、（園児数の減に伴う運営費・補助金収入の減少とそれに伴う人件費支出の増）法人事務局と連携をとりながら行っていきたいと思います。

今年度、静岡市全体としても特に1歳児については待機児童が多いため清水区に待機児童園が開園されます。風の子保育園でも1歳児の入園希望は多く、兄弟入園であっても優先されない、就労時間が短時間の場合に入園できないと厳しい状況です。今年度1歳児を2人まで受け入れ、1・2歳児混合クラスをつくり保育を行います。

新規採用職員2名を迎え、保育経験5年未満の職員が7人となり、若い職員の研修を積極的に考えていきます。また新しい主任を含めた経営会で経営・運営について話し合います。

前年度にできなかった補修工事を行い、新園舎のメンテナンスを含めた保守・点検・整備等については引き続き行いたいと考えています。

地域事業については、今年度実績のもと引き続き保育体験と預かり事業を行っていきます。

① 園長自ら国、県、市の動向をつかみ、新システムについて学習し移行（2年後）と合わせて積極的に情報を得ながら、経営問題とあわせて定期的な会議を行い、職員・保護者・法人と連携をとっていきたいと思います。

② 幼児に主任、乳児に副園長と同様に給食に園長が自ら指導的立場で入り、保育理念「一人ひとりの育ちを大切にしよう」を実践していきます。